ネット問題に係る取組について

資料　4

高知県の取組の現状

■高知県青少年保護育成条例
　（有害情報の規制、販売事業者における青少年への販売時に保護者への
　　フィルタリングの説明の義務）
■少年サポートセンターとの連携によるネット関連出前教室の実施
■ネット問題に関する啓発リーフレットの配付（児童生徒・保護者）
　H25年度
■ネット問題に関するＰＴＡ研修への支援　　H26年度～
■ネットパトロールによる子どもの誹謗中傷の書き込み等のチェック
　H26年度～
■情報モラル教育実践事例集の配付と活用　　H27年度～
■「ネット問題」を子どもと大人で考える県民フォーラムの開催　H27年度
■工科大生による小学生へのネット利用教室　　H26年度～
■高岡高校生によるネット利用に関する地域の小中学校での啓発活動
■東工業高⇔警察署と連携し、ネットトラブル防止のための啓発DVDの作成
■幡多地区小中学校PTA連合会によるネット利用の共通ルール「幡多っ子宣言」の発信

今後に向けて…

☆ネット利用に関するルールづくりの推進
（家庭・学校・PTA・地域）

☆ネット問題に関する啓発事業
（保護者や地域の学び合いの場を支援）

☆児童会・生徒会交流集会の実施
（いじめやネット問題等をテーマとした交流活動を活性化）

☆情報モラル教育の充実
（実践事例集の活用と、活用状況の把握）

※PTA教育行政研修会の保護者から出された提案をベースとして作成

全国の取組例

◆全県的な携帯電話・スマートフォンの利用制限

○全県で小中学生を対象としたスマホ利用制限（岡山県）H26.11
・①午後9時以降は保護者が預かる、②ゲームも午後9時まで、③付き合い方を考える場作り

○小中学生のスマホ等利用の共通ルール「さぬきっ子の約束」（香川県）H27.2
・①夜9時までに使用をやめる、②保護者と決めたルールを守る、③自分も他人も傷つけない使い方をする

◆条例によるフィルタリングの保護者への義務化

○２７都道府県で保護者に対しフィルタリングしない場合の書面（理由記載）提出義務等を条例化　（北海道、埼玉、岐阜、愛知、和歌山、鳥取　など）

◆ネット問題に関する学習会で講師を務めることができる保護者の養成

○子どもセーフネットインストラクター養成講座（群馬県）
・講座を修了した受講者は、「群馬県子どもセーフネットインストラクター」となり、ネット問題解決を図る基本的知識・技能を修得したリーダーとして活躍

○安心ネットインストラクター養成講座（愛知県）
・養成講座を修了したインストラクターは、学校や地域の方々からの依頼を受け、PTA研修会や地区の集会等で講習会を行う

◆ネット問題に関するサミットやフォーラムの実施

○全国いじめ問題子供サミット（文部科学省）
・テーマ:「SNSでのいじめを含め、いじめの問題にどう立ち向かうか」
・153名の小・中学生が集い、地域の取組発表、ポスターセッション、グループ協議等を行う

○いじめ防止サミット　in　北九州（福岡県北九州市）
・テーマ:「いじめを生まない携帯電話やスマートフォンの使い方やルールについて」

○OSAKAスマホサミット2014（大阪府）
・大阪スマホサミット　スマホ宣言2014
「あと10分　気付けばそれは1時間」、「SNSのいいねより　リアルのいいねをシェアしよう」他

○INAGAWAスマホサミット2015（兵庫県猪名川市）
・高校生自らが原稿を作成した「スマホの教科書」による模擬授業
・新スマホサミット宣言　1. スマホをやめてどんどん外へ　2. 困ったら大人に相談　他

県民全体で取り組む必要性